

「放射能管理は徹底」

宮城・
女川町 がれき処理の市町視察団



がれきの選別工程の説明を受ける視察団＝宮城県女川町で（県提供）

東日本大震災のがれきの
広域処理をめぐり、焼却施
設を持つ県内の市町など十
一団体の担当者ら十八人は
十七日、既に東京都内で広
域処理を進めている宮城県
牡鹿郡女川町石浜高森の同
町震災廃棄物選別処理施設
を視察した。現地見学は前
日から二日間の日程で県が
主催し、受け入れの可否と
は無関係に実施した。

女川港に面した選別処理
施設では、がれきを機械に
投入して土砂を取り除いた
後、防じんマスクを着けた
作業員が可燃物や廃プラス
チック、金属、木材などに
手選別していくラインを見
学した。東京都で処理され
る選別後の廃棄物について
は、放射線量を東京都の職

員の立ち会いの下、測定し
ている状況を見て、線量を
確認した。東京都が定めた
数値を超えたことはこれま
でなく、廃棄物の返還もな
いという。

視察団からは、「放射能
の管理が徹底されている」

当者は「難しい」と答えた
という。

「選別ラインですごく分別
されている」との感想が挙
がった。前日視察した石巻
市の大規模な選別処理施設
でも、女川市の施設と同等
の選別ができないかとの質
問があったが、宮城県の担